



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成 17 年 8 月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年 3 回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！



安全・安心まちづくり

白石東青色パトロール隊活動中！！

まちづくり通信第 6 号で既報のとおり、10 月 19 日を皮切りに、毎週火曜日午後 2 時過ぎから 4 時頃にかけて、大谷地小学校、平和通小学校、東白石小学校の通学路を中心に、地域内の巡回パトロールを実施しています。

乗務する隊員は、防犯用ベストを着用し 3 人 1 組で車に乗り込み、青色回転灯を点灯させパトロールする姿は、地域住民にも少しずつ浸透しつつあるように思われ、回を重ねるごとに、その認知度は高まっていくものと期待されます。

パトロール開始後、冬期間に入り積雪寒冷の中でのパトロールは、大変ご苦勞のことと思いますが、児童の下校時の安全確保、また、地域の防犯対策として、その重要性はますます高まっていくものと考えます。

三上隊長を先頭に隊員の皆様の地道な活動に感謝し、拍手を送りたいと思います。



大谷地小学校の下校風景

三上白石東パトロール隊隊長談。



三上白石東青色パトロール隊隊長

既に 15 回のパトロールを行っています。子供たちも学校から教えられているため、車を見ると多くの子が笑顔で手を振ってくれたり、中には「おじさん！！」と親しげに声をかけてくれる元気な子や、我々が赤信号待ちしているとわざわざ車の前まで走り寄り、車の前に立ち止まってボンネットに手をかけ最敬礼してくれる子、あるいは家の前でお母さんが子供の帰りを待っている姿などを見かけることもあります。このような時はとても元気をもらい青パトをしていて良かったと思います。

さらに地域の皆さんから青パトに対して理解と信頼を得られますよう隊員一同がんばっております。

取材担当：武田祐次

熱戦!!かるた大会!

1月21日(日)、「子どもかるた大会」が白石東会館において開催されました。小学生から中学生で町内会ごとにチームを組み、12チーム約70名の子供たちの参加がありました。

1チーム5試合(決勝戦・準決勝戦チームは6試合)という長い戦いでしたが、子供たちは緊張の糸が切れることなく、真剣にかるたに向かっていく姿がとても印象的でした。10枚の自分の持ち札を守り、また相手の札を1枚でも多く取るというゲームを通して、普段にはない緊張感を味わっていたようです。勝負どころになると取り手はプロ並みで、札が飛んでしまうほどの迫力も。子供たちだけでなく見ている大人も息を呑んだり笑いあいの時を過ごしました。



次はどの札?



おしるこ最高!

お昼には主催の育成委員の皆さんが腕を振るったおしるこをいただきました。大なべ2個分のおしるこは、あっという間に完食。練習などでお世話になった町内の皆様と一緒に食べたおしるこは格別だったのではないのでしょうか。

誰でも楽しめる伝統の遊びとしてこれからも受け継がれてほしいと思いました。



優勝したみさちゃんチーム

取材担当：関戸美津子

新年度スタッフ大募集!!!

この「白石東まちづくり通信」は、現在6名のスタッフで製作していますが、新年度に向けて新たにスタッフを大募集します。

スタッフの仕事には、1回の発行毎に、掲載記事の大まかな決定と役割分担、原稿を持ち寄り紙面の打合せ、最終校正という3回程度の編集会議と、取材・記事の執筆があり、皆で手分けして進めていきます。1回の編集会議には1時間程度の時間がかかっています。

情報誌作りに興味がある、まちづくりに関わってみたいという方は、是非ご連絡ください!



会議の様子

(連絡先は、下記まちづくりセンターまでお願いします。)

情報をお寄せ下さい!!

「近所におもしろいものがある」、「前から気になっていた施設がある」、「ユニークな活動をしている人を知っている」など、どんな話題でも結構です。皆さんからの地域の情報をお待ちしております。



取材スタッフ

武田祐次(町連)・杉浦凧子(民児協)・浦川栄一(民児協)
五十嵐載子(育成)・長井和幸(体振)・関戸美津子(大谷地小P)
高橋翔太(札幌商工会議所付属専門学校 製作サポーター)

お問い合わせ 「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内

TEL011-862-0813 FAX011-862-8694 (休館：土・日・祝日)

白石東歴史探訪

月寒東公園＝昔は黒沢山！

白石区と豊平区の境界、月寒東5条18丁目に月寒東公園があります。今回はこのルーツを、たどってみました。

文献によると、月寒東公園一帯は当初、吉田牧場、吉田善三氏の所有地でしたが、昭和7年、黒澤和雄氏が吉田善三氏より土地を購入、黒澤牧場を経営するとあります。その購入した土地の一部に、今回紹介させていただく小高い山がありました。この山自体の所在地は月寒ですが、ふもとからの地名は大谷地となるのです。周囲の人達はこの山を親しみを込めて、黒沢山と呼ぶようになり、その後黒沢山は、大谷地の代名詞となっていきます。



このなだらかな丘陵部分が黒沢山です

昭和30年代の黒沢山。

手前の部分には、現在コープルーシー店や徳洲会病院などが建っています。

お話を下さった兼子さんは、大正7年、現栄通17丁目に住居を構えて以来農業を営み細い道路を隔て吉田牧場、黒澤牧場とはお隣同士でいらした方です。お話をお聞きするとすぐに、「黒沢山は昔から比べると低くなった。」ということでした。山が低くなるというのもおかしな話ですので、よくお聞きすると山とはいっても昭和初期には、すでに畑として開墾され、とうきび、えん麦などの色々な作物を作っていたそうです。毎年畑を耕すたびににくだけた土は少しずつ山の上から下に落下し、長い年月で山の地面が下がってしまい低くなったとのことでした。

黒沢山のふもとと、兼子さん宅と間には細い農道、通称東北通（ひがしきたどおり）（現在の市道、栄通の前身です。）があって、馬車一台がようやく通れるだけの曲がりくねった狭い道路の脇は、野いちごの白い花でいっぱいとなり、実が熟れた頃には赤い色でいっぱいになったとのことでした。

まるでジェットコースター！？

最後に大谷地小学校に通ったことがある人の大半が、一度はスキー授業でお世話になった雪の黒沢山についてお聞きしました。子どもの頃の1番の思い出は、3月上旬になるとかた雪（積もった雪が氷状態になっている。）になるので、馬ソリを親に無断で持ち出し、仲間6～7人で山の上に持って行って一気に滑り降りたこと。昔の山は今の倍の高さがあって、馬ソリの重量も加わり加速がつくともものすごいスピードで、当時は前をさえぎるものは何もなかったので、現在の南郷通あたりまで、滑っていたのではないかとのことでした。

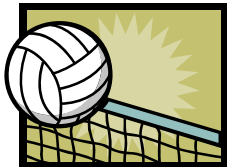


お話を下さった兼子さん

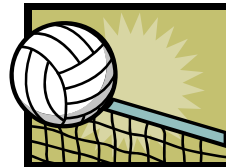


昭和17年当時の兼子さん

背景は黒沢牧場のサイロ



白石区民室内スポレク大会に参加して 白石東地区チーム大健闘！！



2月11日(日)に、白石区体育振興会連合会主催の「第16回白石区民室内スポレク大会」が、白石区体育館で行われました。競技種目は、ミニバレーとテニポンの2種目で、ミニバレーは大樹町、テニポンは様似町で考案された新しいスポーツです。

白石東地区代表として両種目に9チームがエントリーし、特にテニポンでは混合の部で白石東Aチームが優勝し、ペアを組んだ男性は70歳を越えた方でしたが、老練なプレースタイルで女性とのコンビもよく、見事でした。また、女子は、白石東Aチームが準優勝、男子も白石東Bチームが第三位に入賞するという好成績でした。ミニバレーでは、入賞は出来なかつたものの、汗を拭きながら満足感と、他地区の参加者と和やかな交流ができ、とても楽しかったといった感想が聞かれました。

来年度もよろしく！

この大会をもって、6月の地区マラソン大会が皮切りの、平成18年度のスポーツ振興会主催事業は全て、無事に終了することができました。来年度も、各種スポーツ行事を予定していますので、多くの方の参加を希望しております。



取材担当：長井和幸



違法駐車等防止合同パトロール



3月も下旬を迎え、長い冬もようやく終りを告げましたが、冬の除雪や交通安全の大敵が違法駐車、迷惑駐車です。警察や町内会の方が独自に、この地域でパトロールを行っていますが、今回は寒い冬の夜に行われた「違法駐車等防止合同パトロール」について取材してきました。

2月21日午後7時、栄通19丁目にある冒険公園に町内会の人々、白石区職員及び白石警察署員の総勢12名が集合し、国道12号線より南側一帯をパトロールし、違法駐車警告ステッカーを貼っていきました。



パトロールは警察、土木センターなどの協力を得て実施されました。



寒い中ご苦労様です。



ワイパーで警告ステッカーを挟みます。

この三者合同パトロールは、特に除雪や冬の交通安全の関係から問題になる秋から冬にかけて毎年行われています。もう10数年、毎回参加している交通安全活動推進委員の中村保男さんにお話を伺いました。

「だいたいいつも決まったところに決まった台数が違法駐車していますが、パトロールを始めた頃から見ると、随分と少なくなってきたので、このように地域の人達が主体となって粘り強く活動していくことが大切です。」とのことでした。

警告ステッカーは、区の交通安全運動推進委員会に置いてあり、町内会等で独自にパトロールするときなどにも利用できるそうです。(詳しくは、まちづくりセンターまでお尋ねください。)